

報告第2号

令和8年度 事業計画

令和 8 年度事業計画

令和 7 年 5 月に公布された改正薬機法は、段階的に施行され、令和 8 年 5 月からは、濫用等のおそれのある医薬品の販売方法が一層厳格化される。近年、若年者を中心に風邪薬等の一般用医薬品の濫用が拡大している状況を踏まえ、濫用防止に関する周知・啓発の取組みに加え、薬事規制の側面からも、多量・頻回購入の防止を徹底することが求められている。本会は、オーバードーズ対策に対して、行政と連携して薬学講座や情報提供など効果的な施策を推進する。今後、「デジタル技術を活用した医薬品販売」や「調剤業務の一部外部委託」が施行されるが、施行にあたっての具体的な要件等を注視し医療及び医薬品の安全性を確保する観点から、必要な主張を行っていく。

また、O T C としての緊急避妊薬は、令和 7 年 10 月に製造販売承認を受け、特定要指導医薬品及び期間を定めない要指導医薬品に指定され、令和 8 年 2 月から薬局において販売が行われることになった。緊急避妊薬の販売には近隣の産婦人科医等との連携とともに薬局の更なる機能強化が求められている。今後も県医師会や関係機関との連携を強化するとともに、販売薬局に対する情報提供など適切な支援を行っていく。

令和 8 年 6 月に予定される令和 8 年度診療報酬・調剤報酬改定については、その改定趣旨を踏まえ、薬剤師・薬局が期待される役割を的確に果たし、かかりつけ機能を十分に発揮することにより、県民の健康な生活に貢献できるよう、丁寧な説明会の開催など会員への周知徹底を図り、医療の質の向上に取り組んでいく。

昨年 7 月に日薬が策定した「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」については、各地域薬剤師会において、関係行政機関や多職種との連携・協働の下、実行されているところであり、本会としても、地域薬剤師会が実施するイベントや研修会等への講師派遣や経費の一部負担など地域薬剤師会への支援を充実し、その活動をサポートすることで、地域医薬品提供体制構築の推進を図る。

医療 D X の推進に関しては、電子処方箋、オンライン服薬指導、電子おくすり手帳等の普及は着実に進展している。さらに、本会では令和 7 年度の役員改選により、役員の年齢構成が大幅に若返ったところであり、その若い力を積極的に注力し、これらのツールを効果的に活用することにより、業務の効率化と、患者に対するより質の高いサービスの提供を目指す。

組織強化の取組としては、令和 7 年度に「組織会員委員会」を立ち上げ、現在、会員拡充対策、将来の地域薬剤師会及び県薬剤師会のあり方を検討しているところである。令和 8 年度から日本薬剤師会が実施する「新卒薬剤師 初年度会費無料キャンペーン」のほか、日本薬剤師会が取りまとめた報告書を参考に、地域薬剤師会と連携し、必要な施策の実施に取り組んでいく。

さらには、令和 8 年度の最大のイベントである第 59 回東海薬剤師学術大会を 11 月に静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で開催する。特別記念講演や教育講演、研究発表など様々なプログラムを提供し、最新の知識・知見を習得することで、大会に参

加する東海四県の薬剤師等の更なるスキルアップの一助となることを目指す。

本会は、目前の課題への対応を着実に進めるとともに、中長期的な視野に立った検討を重ねていく。その結果として、各地域において薬剤師サービスと医薬品提供体制が確立され、地域住民が安心して暮らせる環境が実現されることを目指す。そのため、現場の薬剤師・薬局が十分に活躍できるよう、公益社団法人として日本薬剤師会及び県内の地域・職域薬剤師会との連携の下、以下に示す事業を実施する。一人ひとりの薬剤師がその職能を生かし、責任を持ってそれぞれの職務を果たせるよう、全力で会務を推進していく。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

<公益目的事業>

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

- 1 薬剤師養成のための薬学教育への対応 [定款4条1項1号関連]
 - (1) 認定実務実習指導薬剤師の養成
 - ア 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
 - イ 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ」の開催
 - ウ 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
 - (2) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
 - (3) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力
 - (4) 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」対応の研修等の実施
 - (5) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力
- 2 生涯学習の充実・学術活動の推進 [定款4条1項1号関連]
 - (1) 生涯学習の充実
 - ア 日本薬剤師研修センター及び日本薬剤師会が実施する生涯学習事業への協力

- イ e-ラーニング等による生涯学習・研修システムの検討
- ウ 臨床及び疫学研究に関する倫理審査等への対応

(2) 学術活動の推進

- ア 第59回日本薬剤師会学術大会（新潟大会）への参加
- イ 第59回東海薬剤師学術大会（静岡大会）の開催

3 薬剤師・薬局機能の充実及び医療安全対策の推進

[定款4条1項2号・3号・4号・5号・7号関連]

(1) 健康サポート薬局制度の推進

- ア 健康サポート薬局のための技能習得型研修会の開催
- イ 健康サポート薬局制度に関する情報の収集及び提供

(2) 「薬と健康の週間」関連事業の推進

- ア 「薬と健康の週間」関連事業への助成
- イ 医薬品及び健康づくりに関する啓発イベントへの協力

(3) 医薬分業の質的向上を図るための対策

- ア 地域連携薬局推進のための医療機関と薬局の連携モデル事業の実施
- イ 医薬分業の質的向上を図るための研修会の開催
- ウ 薬機法等への対応
- エ 日薬「薬剤師の資質向上等に資する研修事業」への対応

(4) 調剤過誤防止対策の推進

- ア 調剤過誤防止・医療安全管理に関する情報の収集及び提供
- イ 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力

(5) 要指導医薬品・一般用医薬品販売に関する講習会の開催

- ア 緊急避妊薬販売への対応

(6) 「お薬手帳」の普及・推進

(7) 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

4 医薬品等情報活動の推進

[定款4条1項2号・7号関連]

(1) 医薬品情報管理センターの運営

- ア 医薬品等に関する情報の収集及び解析
- イ 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供
- ウ 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需
- エ 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進
- オ 医薬品情報管理センターのあり方の検討

(2) 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力

5 公衆衛生・薬事衛生への対応

[定款4条1項3号・4号・7号関連]

(1) 学校薬剤師活動の推進

- ア 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施
 - イ 学校薬剤師講習会の開催
 - ウ 学校保健教育に係る学校薬剤師活動の検討
 - エ 学校環境衛生活動の充実の検討
- (2) 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応
- (3) 静岡県の「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」「危険ドラッグ撲滅運動」への協力
- (4) スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進
- ア 「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力
 - イ スポーツファーマシスト・スキルアップ研修会の開催
 - ウ スポーツ団体、自治体等によるアンチ・ドーピング活動への協力
- (5) 新型インフルエンザ等対策への対応
- 6 地域包括ケアシステムを踏まえた地域医療、介護、保健等の提供体制の取り組みの推進 [定款4条1項5号・7号関連]
- (1) 医療計画等各種計画及び医療提供体制等への参加・連携促進
- ア 薬剤師の医療、介護提供体制への参加、多職種との連携促進
 - イ がん対策
 - ウ 薬剤師認知症対応力向上研修の開催
- (2) 多職種連携（チーム医療）の推進
- ア 在宅医療対応力向上研修会の開催
 - イ 在宅医療に関する地域薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣
 - ウ 在宅訪問同行研修の実施
 - エ 在宅医療に関する多職種連携研修会の開催
 - オ 在宅訪問実施可能薬局登録制度の推進
 - カ 「お薬出前講座」（一般県民向け・介護支援事業者等向け）の実施
- (3) 病院・診療所薬剤師との連携（薬薬連携）の推進の検討
- (4) 在宅医療推進のための環境整備
- ア 麻薬小売業者間譲渡許可制度等の推進
 - イ 医療材料等供給体制整備の推進への協力
 - ウ 薬剤師確保対策の推進
 - エ 訪問薬剤管理指導業務の啓発
 - オ 在宅訪問支援活動の推進
- 7 医療保険制度・介護保険制度への対応 [定款4条1項3号・4号・7号関連]
- (1) 調剤報酬・介護報酬請求の適正化
- ア 調剤報酬等請求等に関する研修会の開催
 - イ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への対応
 - ウ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再

指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施
(2) 調剤報酬・介護報酬改定に関する情報の収集及び提供

- 8 災害時等の医薬品の確保・供給への対応 [定款4条1項6号・7号関連]
(1) 災害時における医薬品等の確保・供給のあり方の検討
(2) 災害時の救援活動等への準備・対応
ア 大規模地震発生時における災害対策本部の立ち上げ及び被害状況調査等に関する防災訓練の実施
イ 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
ウ 静岡県災害薬事コーディネーターの養成
エ 災害時における情報連絡システムの普及
- 9 広報活動の推進 [定款4条1項4号・7号関連]
(1) 会報の発行
(2) 静岡県薬剤師会ホームページの充実
(3) 薬剤師職能メディア啓発事業の実施

<収益事業>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

<管理部門>

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討(「組織会員委員会」の運営、薬局承継に係る相談体制整備の検討)
- 3 地域・職域薬剤師会の活動の支援等
- 4 地域・職域連絡協議会の開催
- 5 危機管理(災害対策を含む)への対応
- 6 業務のデジタル化の推進
- 7 公益目的事業概要の再検討
- 8 日本薬剤師会HPKI(Health Public Key Infrastructure:保健医療福祉分野の公開鍵基盤)認証局(薬剤師資格証の発行)への対応
- 9 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 10 日薬共済部、薬剤師賠償責任保険及びサイバー保険等各種保険への加入の促進
- 11 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡

県薬事振興会等関係団体との連携・協力

12 静岡県薬剤師会館の管理運営